

令和7年度支部事業計画及び支部保険者機能強化 予算の策定に向けた意見交換

データヘルス計画とは？

<目的>

日本国民の健康寿命の延伸・医療費の適正化

<内容>

日本再興戦略を受けて加入者の健康保持増進の取り組みを推進するよう法整備されたもので、各医療保険者（協会けんぽや健康保険組合）が保有している加入者の健診結果データ・レセプトデータ（医療機関を受診した記録）を分析し、健康課題を把握したうえで、効果的かつ効率的な健康づくりの計画を立て、皆さまと共に実施するというもの。

1人当たり医療費（入院）の特徴について

疾病分類別 1人当たり医療費の地域差指数-1（入院）

統計年度	感染症及び寄生虫症（入院）	① 新生物（入院）	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害（入院）	② 内分泌、栄養及び代謝疾患（入院）	③ 精神及び行動の障害（入院）	神経系の疾患（入院）	眼及び付属器の疾患（入院）
2020	0.004	0.018	0.000	0.012	0.009	0.014	0.006
2021	0.008	0.020	0.001	0.013	0.009	0.008	0.006
2022	0.005	0.026	0.003	0.013	0.009	0.005	0.007
2023	0.002	0.028	-0.002	0.015	0.010	0.005	0.008

統計年度	耳及び乳様突起の疾患（入院）	循環器系の疾患（入院）	呼吸器系の疾患（入院）	消化器系の疾患（入院）	皮膚及び皮下組織の疾患（入院）	筋骨格系及び結合組織の疾患（入院）	腎尿路生殖系の疾患（入院）
2020	0.000	-0.001	0.000	0.003	0.000	0.011	0.001
2021	0.000	-0.009	-0.004	-0.002	0.000	0.007	0.000
2022	0.001	0.000	-0.003	0.001	0.001	0.005	0.000
2023	0.000	-0.002	-0.007	-0.001	0.000	0.003	-0.002

統計年度	妊娠、分娩及び産じょく（入院）	周産期に発生した病態（入院）	先天奇形、変形及び染色体異常（入院）	他に分類されないもの（入院）	損傷、中毒及びその他の外国の影響（入院）	特殊目的用コード（入院）
2020	-0.004	-0.013	-0.007	0.000	-0.002	-0.005
2021	-0.003	-0.010	0.003	0.000	-0.003	-0.013
2022	-0.002	-0.009	0.002	0.000	-0.003	-0.009
2023	-0.001	-0.011	0.002	0.000	-0.008	-0.001

疾病分類別 1人当たり医療費（入院）

統計年度	感染症及び寄生虫症	① 新生物	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	② 内分泌、栄養及び代謝疾患	③ 精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患
2020	655	8,668	301	1,160	1,558	2,037	825
2021	1,260	13,217	529	1,785	2,257	2,744	1,238
2022	1,108	13,981	647	1,784	2,335	2,628	1,340
2023	1,028	14,536	428	1,972	2,451	2,755	1,397

統計年度	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖系の疾患
2020	191	6,415	1,175	2,586	239	3,154	1,325
2021	281	9,163	1,792	3,673	339	4,671	1,927
2022	314	10,058	1,899	3,930	403	4,677	2,009
2023	279	10,275	2,278	3,916	435	4,730	1,975

統計年度	妊娠、分娩及び産じょく	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外国の影響	特殊目的用コード
2020	1,118	691	625	177	2,400	262
2021	1,760	1,188	1,397	287	3,428	1,250
2022	1,810	1,262	1,416	319	3,692	633
2023	1,814	1,137	1,439	322	3,599	302

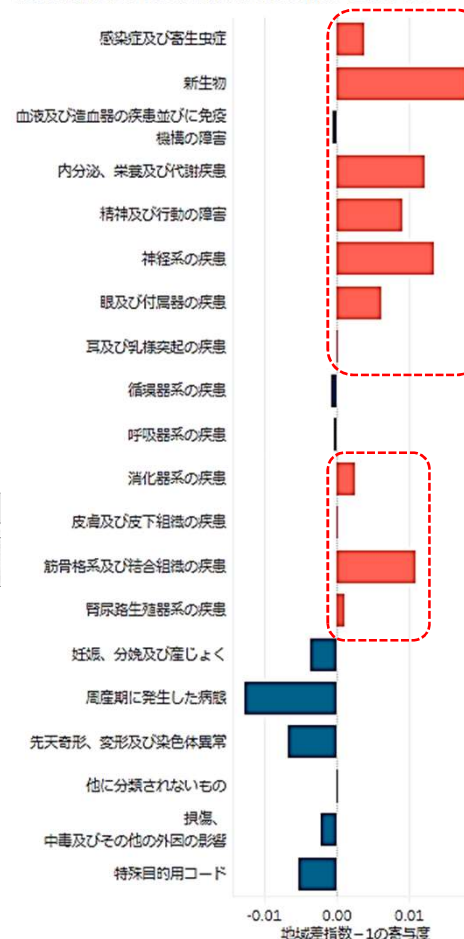
(※)地域差指数-1とは、地域差を表す指標として、各種指標について年齢調整し全国平均を0として指数化したもの

0より大きい数値の場合(プラス): 全国平均より高い水準

0より小さい数値の場合(マイナス): 全国平均より低い水準

2020年度 (R2) _入院

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



2023年度 (R5) _入院

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



石川支部の特徴は

①新生物 > ②内分泌、栄養及び代謝疾患 > ③精神及び行動の障害の順で全国平均より高い

1人当たり医療費（入院外）の特徴について

疾病分類別 1人当たり医療費の地域差指数-1（入院外）

統計年度	感染症及び寄生虫症（入院外）	新生児（入院外）	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害（入院外）	内分泌、栄養及び代謝疾患（入院外）	精神及び行動の障害（入院外）	神経系の疾患（入院外）	眼及び付属器の疾患（入院外）
2020	0.006	0.003	0.006	0.011	-0.002	0.000	-0.003
2021	0.006	0.003	0.006	0.012	-0.002	-0.001	-0.002
2022	0.007	-0.003	0.004	0.011	-0.002	-0.002	-0.002
2023	0.006	0.000	0.002	0.013	-0.003	-0.002	-0.002

統計年度	耳及び乳様突起の疾患（入院外）	循環器系の疾患（入院外）	呼吸器系の疾患（入院外）	消化器系の疾患（入院外）	皮膚及び皮下組織の疾患（入院外）	筋骨格系及び結合組織の疾患（入院外）	泌尿生殖器系の疾患（入院外）
2020	-0.002	-0.005	-0.015	-0.008	0.001	0.000	-0.006
2021	-0.002	-0.007	-0.013	-0.008	0.001	0.000	-0.007
2022	-0.002	-0.006	-0.005	-0.006	0.000	0.001	-0.009
2023	-0.002	-0.007	-0.013	-0.008	-0.001	0.000	-0.009

統計年度	妊娠、分娩及び産じょく（入院外）	周産期に発生した病態（入院外）	先天奇形、変形及び染色体異常（入院外）	他に分類されないもの（入院外）	損傷、中毒及びその他の外国の影響（入院外）	特殊目的用コード（入院外）
2020	0.000	-0.001	0.001	-0.002	-0.002	-0.002
2021	0.000	-0.001	0.001	-0.003	-0.003	-0.006
2022	0.000	-0.001	0.001	-0.002	-0.002	0.001
2023	0.000	0.000	0.001	-0.003	-0.002	0.003

疾病分類別 1人当たり医療費（入院外）

統計年度	感染症及び寄生虫症	新生児	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患
2020	2,749	8,002	1,805	9,449	3,439	2,494	3,114
2021	4,455	12,546	2,786	14,847	5,312	3,891	4,941
2022	4,901	12,887	2,773	15,319	5,429	4,073	5,223
2023	4,730	13,575	2,709	15,661	5,396	4,350	5,245

統計年度	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	泌尿生殖器系の疾患
2020	683	8,439	6,522	4,071	4,546	5,921	4,612
2021	1,075	12,735	11,151	6,498	7,111	9,251	6,982
2022	1,057	12,815	15,260	6,845	7,306	9,391	7,393
2023	1,133	12,560	17,375	6,827	7,565	9,243	7,325

統計年度	妊娠、分娩及び産じょく	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外国の影響	特殊目的用コード
2020	182	177	646	1,266	1,739	246
2021	282	236	995	2,122	2,612	1,504
2022	276	264	1,097	2,471	2,874	5,933
2023	267	341	1,184	2,241	2,866	3,624

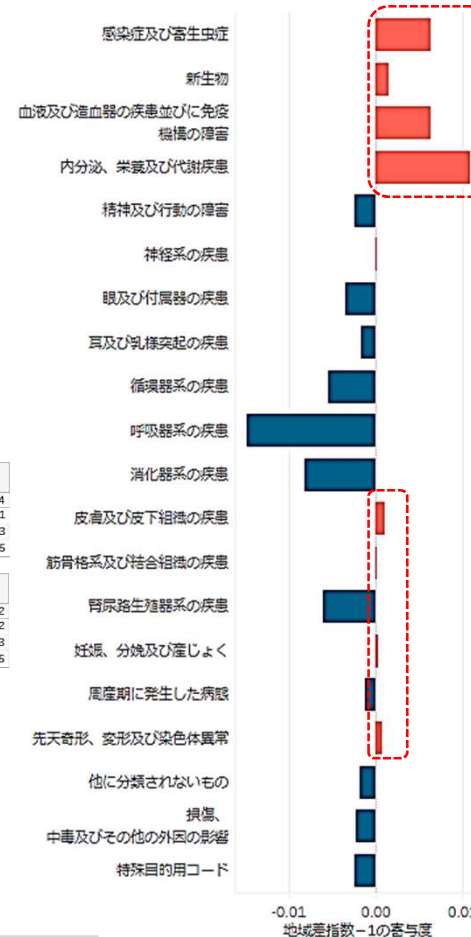
(※)地域差指数-1とは、地域差を表す指標として、各種指標について年齢調整全国平均を0として指数化したもの

0より大きい数値の場合(プラス): 全国平均より高い水準

0より小さい数値の場合(マイナス): 全国平均より低い水準

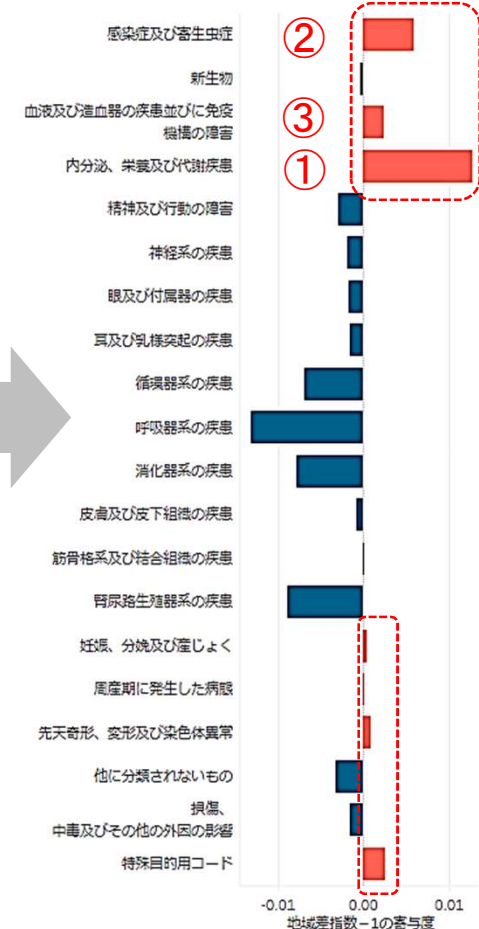
2020年度 (R2) _入院外

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



2023年度 (R5) _入院外

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



石川支部の特徴は

①内分泌、栄養及び代謝疾患 > ②感染症及び寄生虫症 > ③血液及び造血系の疾患関係の順で全国平均より高い

石川支部の健診結果及び問診結果から見た特徴について

健診結果及び問診結果

統計年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率	メタボリックシンドロームのリスク保有率 地域差指数-1	メタボリックリスク予備群の割合	メタボリックリスク予備群の割合 地域差指数-1	腹囲のリスク保有率	腹囲のリスク保有率 地域差指数-1	血圧のリスク保有率	血圧のリスク保有率 地域差指数-1
2020	15.6%	0.019	12.6%	-0.005	34.3%	-0.010	47.0%	0.036
2021	15.6%	-0.001	12.3%	-0.038	34.0%	-0.031	46.1%	0.014
2022	15.6%	-0.009	12.3%	-0.030	34.1%	-0.028	46.3%	0.007
2023	15.7%	-0.013	12.2%	-0.041	34.1%	-0.030	46.1%	-0.003

統計年度	脂質のリスク保有率	脂質のリスク保有率 地域差指数-1	代謝のリスク保有率	代謝のリスク保有率 地域差指数-1	BMIのリスク保有率	BMIのリスク保有率 地域差指数-1	中性脂肪のリスク保有率	中性脂肪のリスク保有率 地域差指数-1
2020	28.1%	0.002	16.1%	0.056	29.2%	-0.061	20.5%	0.044
2021	28.5%	-0.001	15.7%	0.011	28.8%	-0.076	19.6%	0.016
2022	28.5%	-0.004	15.6%	-0.007	28.7%	-0.078	19.2%	0.006
2023	28.9%	0.002	15.9%	0.017	28.6%	-0.085	19.4%	0.023

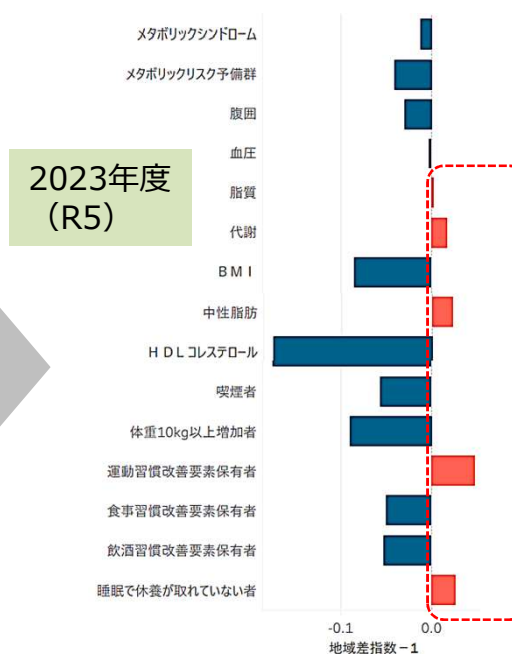
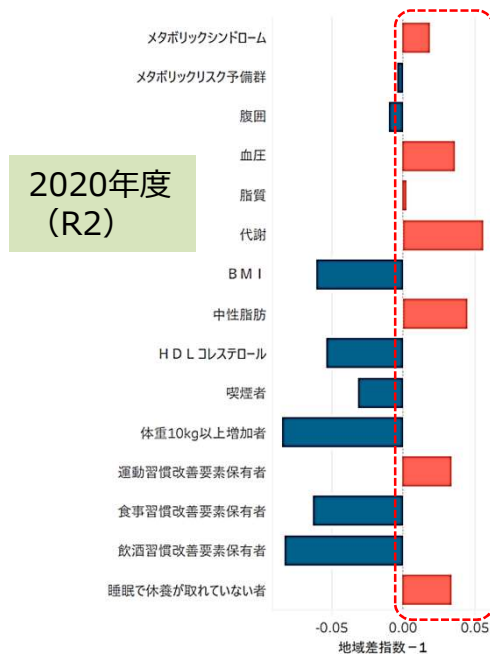
統計年度	HDLコレステロールのリスク保有率	HDLコレステロールのリスク保有率 地域差指数-1	喫煙者の割合	喫煙者の割合 地域差指数-1	体重10kg以上増加者の割合	体重10kg以上増加者の割合 地域差指数-1	運動習慣改善要素保有者の割合	運動習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1
2020	3.9%	-0.054	26.7%	-0.032	37.1%	-0.085	71.8%	0.033
2021	3.9%	-0.071	26.4%	-0.053	37.7%	-0.082	71.3%	0.037
2022	3.5%	-0.138	26.2%	-0.054	37.5%	-0.084	70.6%	0.039
2023	3.4%	-0.176	26.3%	-0.057	37.6%	-0.090	70.2%	0.048

統計年度	食事習慣改善要素保有者の割合	食事習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	飲酒習慣改善要素保有者の割合	飲酒習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	睡眠で休養が取れていない者の割合	睡眠で休養が取れていない者の割合 地域差指数-1
2020	48.5%	-0.063	10.9%	-0.083	37.8%	0.034
2021	49.0%	-0.053	11.3%	-0.056	37.1%	0.020
2022	49.6%	-0.050	11.4%	-0.064	38.4%	0.030
2023	50.0%	-0.051	11.7%	-0.053	39.5%	0.026

(※)地域差指数-1とは、地域差を表す指標として、各種指標について年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの

0より大きい数値の場合(プラス):全国平均より高い水準

0より小さい数値の場合(マイナス):全国平均より低い水準



石川支部の特徴は

○健診結果で、『代謝』と『中性脂肪』のリスク保有率の割合が全国平均より高い

○問診結果で、『運動習慣改善要素保有者』と『睡眠で休養が取れていない者』の割合が全国平均より高い

石川支部特有の課題

- 『内分泌、栄養及び代謝疾患』の1人当たり医療費が入院・入院外ともに全国平均を上回る
- 健診結果において、『代謝（血糖）』と『中性脂肪』のリスク保有率が全国平均を上回る
- 問診結果では、『運動習慣要改善者』の割合が70%以上と高く、かつ全国平均を上回る

石川支部の第3期データヘルス計画

○ 6 年後に達成する目標(健康課題を踏まえた検査値の改善目標)

代謝（血糖）リスク保有者の割合を令和 4 年度の全国平均以下

（男性26.2%→23.1%、女性14.8%→11.7%）にする

○ 対策を進めるべき重大な疾患（10年以上経過後に達するゴール）

新規透析導入患者に占める糖尿病性腎症の割合を50%以下にする

石川支部の課題①

- 『内分泌、栄養及び代謝疾患』の1人当たり医療費が入院・入院外ともに全国平均を上回る
- 健診結果において、『代謝（血糖）』と『中性脂肪』のリスク保有率が全国平均を上回る

今後の施策

【特定保健指導の実施拡大】

- ・健診当日の特定保健指導実施拡大に向けて、健診機関への働きかけの実施
- ・特定保健指導専門機関を活用した実施拡大
- ・支部契約保健師等による特定保健指導の実施

【高血糖等未治療者に対する受診勧奨の実施拡大】

- ・石川労働局と連携した事業所への受診勧奨協力依頼の実施及び支部独自作成のポスター配布
- ・高血糖等で未治療の方に対する受診勧奨の実施拡大

【生活習慣病予防健診の実施拡大】

- ・課題①を訴求するにあたり、より多くの潜在的リスクをスクリーニングするため、健診実施率（受診者数）の向上に取り組む。



受診勧奨ポスター
（高血糖）



受診勧奨ポスター
（高血圧）

石川支部の課題②

問診結果では、『運動習慣要改善者』の割合が70%以上と高く、かつ全国平均を上回る

今後の施策

- 健康宣言事業所に対して、運動習慣定着化につながる健康出前講座（オンライン含む）の利用勧奨を行う。
- 健康保険委員が在籍している事業所に対して、健康出前講座「足腰チェック講座」の利用勧奨を行い、運動習慣定着化につなげるフォローを実施する。併せて、健康宣言に向けた働きかけも行う。
- 業界団体、関係団体における研修会等において、「足腰チェック講座」を実施する。
- 支部広報媒体により周知広報を強化する。

